

南区さくら保全・活用計画

平成 18 年 3 月

横浜市 南区役所

はじめに

サクラは明治期に東京の銀座通りにマツと交互に植える形で街路樹に採用されて以降、日本全国の道路や河川、そして公園に修景や花見の場づくりとしてたくさん植樹されてきました。なかでもソメイヨシノは、最もポピュラーなサクラとして、「桜前線」の表徴種となり、全国に広く分布する代名詞的な樹種となっています。

このように大変親しまれているサクラですが、この樹種は樹齢 60 年程度をピークとして衰退が顕著となる傾向にあり、全国にある戦後に植えられた多くのソメイヨシノの名所や並木道で、これが問題となっています。

南区もこの一つで、区のシンボルとして、内外に知られてきた大岡川の桜並木が近年樹勢の衰えが目立ってきたことから、区民の皆さんと専門家並びに施設管理者が協働で保全、活用の方法を検討することを目的に本委員会は設置されました。小学生が参加し、4,500 本を超える区内の桜を確認することからスタートし、「さくら」の現状と課題、計画の基本方針、具体的な取り組み方針などから、今後の「さくら」を活かした南区のまちづくりに至るまで、「さくら保全・活用計画」の基本的事項全般にわたり、平成 17 年の 3 月以降 3 回の委員会と 4 回の専門部会で議論を重ね、とりまとめられたのが本計画です。

50 年先の子どもたちにも、美しい「さくら」の並木道を引き継げるようにするのは、今の時代に生きる大人たちの責務です。南区において、今後、区民の皆さんと施設管理者がこの計画を基本に、協働で持続的な取り組みを行うことを期待しています。

最後に、多くの御意見・御提案をいただいた委員の方々に心よりお礼を、そして、計画策定過程で委員会へ多くの御意見をお寄せいただいた、南区民の皆さんの熱意に感謝を申し上げます。

平成 18 年 3 月

南区さくら保全・活用計画検討委員会 委員長
東京農業大学副学長 蓑茂 壽太郎

春になると区の内外から多くの方々が大岡川プロムナードを訪れる、恒例の「南区桜まつり」も今年で 16 回を数えます。南区では、平成 13 年に区民に親しまれてきた「さくら」を区の花に制定し、平成 15 年には区政 60 周年記念事業として、桜の花びらをモチーフにしたマスコットキャラクター「みなっち」を区民公募で作成するなど、区民と協働で「さくら」を活かしたまちづくりを進めています。

区民の高い関心を集めた本計画の策定にあたって、多くの御意見をいただくとともに、昨年本格的に始まった「さくら」を守り育てるための「さくら貯金」の募金活動でも、小中学生から自治会、町内会や商店街など、幅広い区民から貴重な御協力をいただいているところ です。

今後は、「さくら」を将来にわたる区民共通の資産として、区の花「さくら」の保全・活用の進むべき方針をまとめた本計画を基に、南区を挙げて区民と協働で取り組んでまいります。

最後になりますが、1 年間にわたり本計画の策定に携わっていただいた、蓑茂委員長をはじめ委員の皆様には厚く御礼申し上げます。

平成 18 年 3 月

南区長 渡辺 興三

目次

I 章	南区さくら保全・活用計画の位置づけ	1
1	計画の経緯	1
2	策定プロセス	1
3	スケジュール	2
II 章	区の花「さくら」の現状と課題	3
1	南区の概要	3
(1)	区のシンボル	3
(2)	現状と課題	4
(3)	関連計画	5
2	南区の桜	7
(1)	区の花「さくら」に関するこれまでの南区の取り組み	7
(2)	南区さくらマップ	8
(3)	桜の分布状況	10
①	大岡川プロムナード	10
②	道路／鉄道	10
③	公園	11
④	公共施設	11
⑤	斜面緑地	11
⑥	戸建住宅地／集合住宅	12
⑦	寺社仏閣等	12
3	大岡川プロムナードの桜並木	13
(1)	大岡川の桜並木の歴史	13
(2)	大岡川プロムナードの概要	13
(3)	樹木診断の結果	15
①	樹木の健全度調査	15
②	病害等の傾向把握調査	17
(4)	歩行空間の課題	19

Ⅲ章 南区さくら保全・活用計画の基本方針	22
Ⅳ章 区の花「さくら」の保全・活用に向けた具体的取り組み	23
1 保全育成計画	23
(1) 大岡川プロムナードの桜並木	23
① 育成管理方法	23
② プロムナードのあり方	25
③ 事業費の確保と事業妥当性のPR	28
(参考) 事業費予測の算出方法	29
(2) その他の桜	30
① 民有地の桜	30
② 公有地の桜	30
(参考) 一般的な日常管理の方法	30
(参考) 一般的な樹勢回復の方法	30
(参考) 区の花さくら環境実験	31
2 普及活用計画	35
3 保全活用に必要な資金	36
(1) 資金作り	36
(2) 資金活用	37
4 各取り組みが一体となった仕組みづくり	37
Ⅴ章 区の花「さくら」を活かした南区のまちづくり	38
(参考) 区の花「さくら」の現状に対する区民意見	40
(参考) 「南区さくら保全・活用計画(素案)」意見募集実施結果	42
(資料) 出典及び参考資料一覧	43
南区さくら保全・活用計画検討委員会 委員名簿	44

I 章 南区さくら保全・活用計画の位置づけ

1 計画の経緯

南区には多くの桜の名所があり、桜は「区の花」として区民の皆様に親しまれています。

ところが、南区のシンボルとも言える大岡川プロムナードの桜並木は、樹木診断の結果、全 505 本の桜のうち半数以上が治療や植え替えなど何らかの処置が必要と診断され、樹勢の衰えが心配されています。

そこで、南区では、学識経験者や地域団体代表者等の御協力によって検討委員会を設け、区民の皆様と協働で区の花「さくら」を守り育てることを目指す「南区さくら保全・活用計画」を策定します。

2 策定プロセス

「南区さくら保全・活用計画」を策定するため、学識経験者、地域団体代表者、造園関係者、関係行政機関の御協力で平成 17 年 3 月に「南区さくら保全・活用計画検討委員会」を立ち上げました。また、委員会での検討に加え、委員の皆さんは地域団体代表者を中心とする「区民参加系専門部会」と造園関係者や関係行政機関を中心とする「技術系専門部会」の 2 つの部会に分かれ、詳細な検討を進めてきました。

さらに、様々な立場や世代の区民の意見を計画に反映させるため、平成 17 年 5 月から 7 月にかけて、大岡川沿いの町内会の方々、弘明寺商店街の方々、南区子育ての場「さくらザウルス」のスタッフ及び利用者の方々に各 1 回ヒアリングを行い、区内の桜の魅力、昔の様子、桜を活かした取り組み、今後の課題、保全活用のアイデアなどを伺いました。

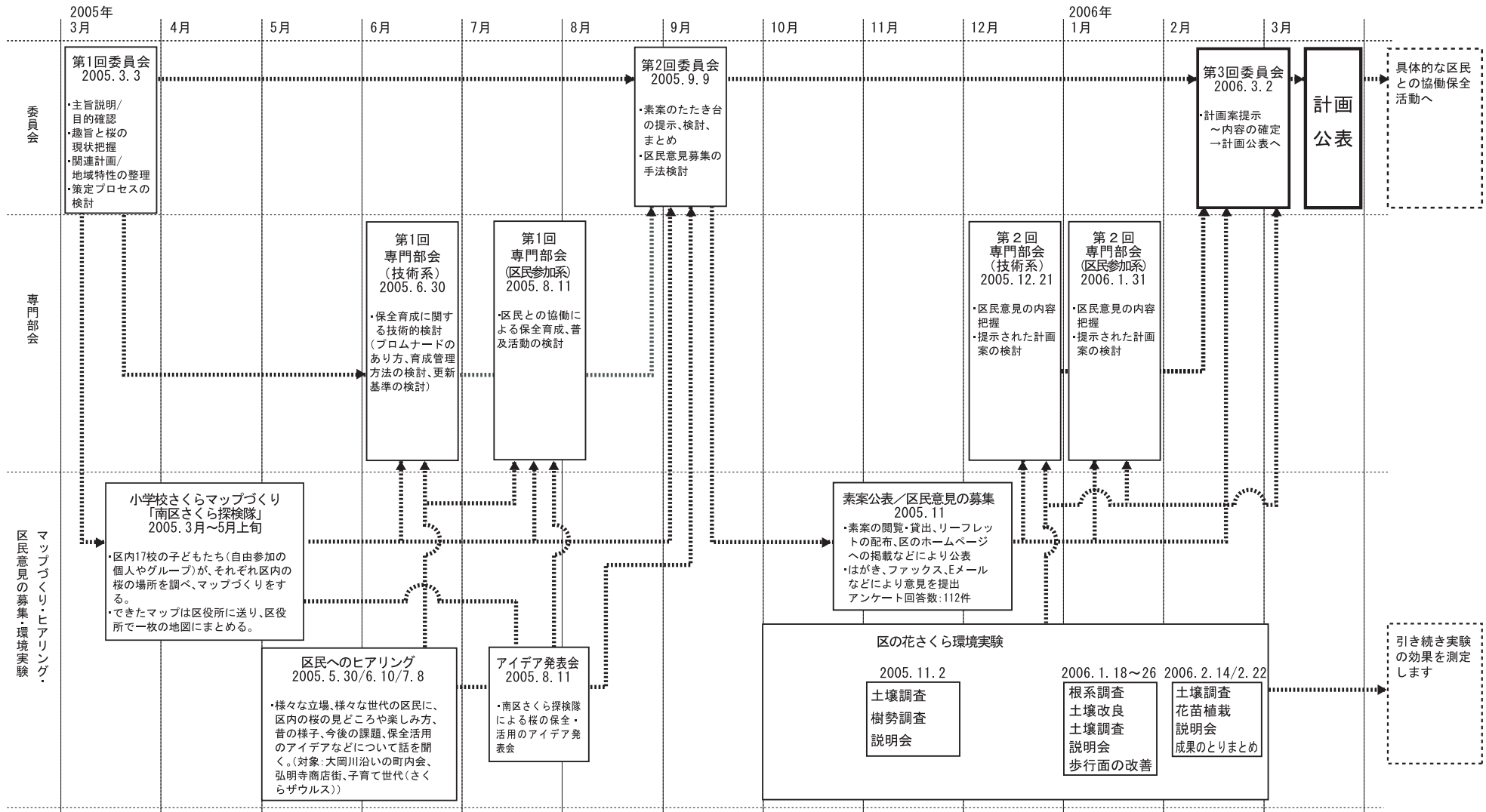
これらと並行して、区内の桜の分布状況を把握するため、桜の開花時期に桜が植えられている場所を調べて地図化し、平成 17 年 5 月に「南区さくらマップ」を作成しました。このマップづくりには「南区さくら探検隊」として区内の小学生 88 名が参加し、区内に 4,500 本以上の桜があることが分かりました。

平成 17 年 7 月には、このマップづくりに参加した小学生が集まり、桜を楽しんだり守ったりするアイデアを考え、区民参加系専門部会の委員の皆さんの前で発表する「南区さくら探検隊アイデア発表会」を行いました。

そして、平成 17 年 11 月 1 日に「南区さくら保全・活用計画」（素案）を公表するとともに、区民の皆様の御意見を計画に反映させるため、素案に対する意見募集を行い、112 件もの御回答をいただきました。また、並行して区内小学校とともに大岡川プロムナードの桜並木の育成環境改善のための「区の花さくら環境実験」を実施しました。

このような様々な取り組みを通して、平成 18 年 3 月に計画を策定・公表することとなりました。

3 スケジュール



Ⅱ章 区の花「さくら」の現状と課題

1 南区の概要

(1) 区のシンボル

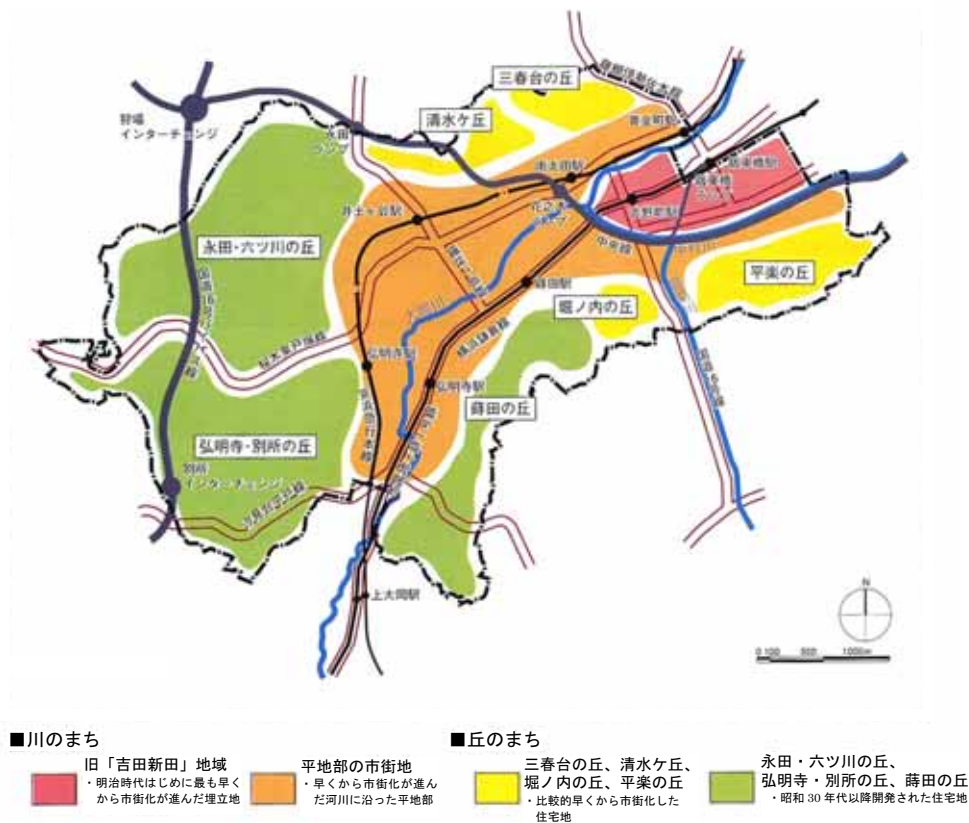
南区は、開港以来の市街化の歴史とともに地域特性が形づくられ、大岡川沿いに早くから開けた「川のまち」と住宅地の広がる「丘のまち」に分かれます。

区内を縦断する大岡川には桜並木の美しいプロムナードが整備され、区民の憩いの場であると同時に、南区のシンボルとなっています。

丘陵部は、三春台の丘、清水ヶ丘、永田・六ツ川の丘、弘明寺・別所の丘、蒔田の丘、堀ノ内の丘、平楽の丘という「7つの丘」と呼ばれる地形によって構成されており、南区の変化ある環境を形づくっています。

このように、南区は、区のシンボルである大岡川と桜並木を変化に富んだ周囲の7つの丘が囲むまちといえます。

まちの区分	地域
川のまち	明治時代はじめから開発の進んだ旧「吉田新田」地域
	明治時代中期から大正時代にかけて開発された大岡川沿いの平地部
丘のまち	比較的早くから住宅地として開けた4つ丘 (三春台の丘、清水ヶ丘、堀ノ内の丘、平楽の丘)
	昭和30年代以降に開発された3つの丘 (永田・六ツ川の丘、弘明寺・別所の丘、蒔田の丘)



出典：横浜市都市計画マスタープラン・南区プラン『南区のまちづくり』（平成16年4月・横浜市南区役所・都市計画局）

(2) 現状と課題

南区の現状と課題として、特に本計画の策定に関連の高いものを以下に整理します。

[高齢者や子育て世代の増加 → まちのバリアフリー化を図る]

南区の高齢化率は18区で最高となっており、年々その割合は増加しています。元気な高齢者の健康づくりや地域活動へ参加しやすい環境づくりが求められています。一方、マンションが建設された地域などでは、若い子育て世代の増加が見られます。

高齢者や子ども、障害者をはじめ、区民が安心して通行できるバリアフリー化された大岡川プロムナードの再整備が望まれます。

●高齢化率
 (H17. 3. 31 現在)
「18区中1位」
南区 19.9%
 (市平均 16.3%)

出典：統計で知るみなみ（平成18年2月・横浜市南区役所）

[高い市街化率、少ない緑地 → 貴重な緑空間のプロムナードを活用する]

南区は早くから市街化が進み、区内のほぼ全域が市街化しています。人口密度は市内最高で、狭あい道路（幅員4m未満の道路）や木造住宅密集地が多くあります。

開発に伴って、空地や斜面緑地が減少しており、区の緑被率は18区中15位となっています。また、一人あたりの公園面積は18区で最小です。

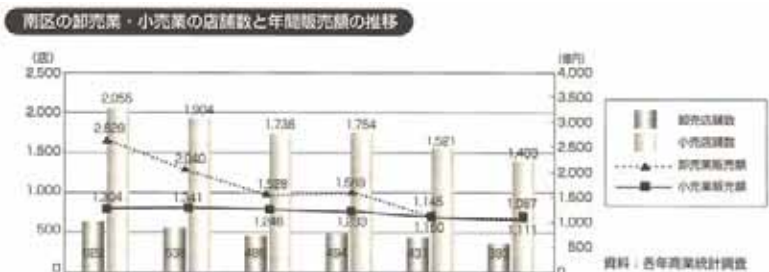
●一人あたり公園面積
 (公園面積 H17. 6. 24 現在)
 人口 H17. 10. 1 現在)
「18区中18位」
南区 2.06㎡/人
 (市平均 4.54㎡/人)

区内の貴重な緑の空間である大岡川プロムナードを、より区民が緑に親しみ、安全に散策できる場として保全し活用することが望まれます。

出典：統計で知るみなみ（平成18年2月・横浜市南区役所）

[商店街の店舗数の減少 → 商店街の活性化に区の花「さくら」を活用する]

南区には15の商店街があり、区民の日常生活を支える場として親しまれています。近年の大規模店舗の増加等により、商店街に空き店舗が見られ、空洞化が懸念されています。活気あふれる「南区桜まつり」のように、商店街の活性化につながっていく、区の花「さくら」の活用方法の検討が望まれます。



出典：統計で知るみなみ（平成18年2月・横浜市南区役所）

[区の花「さくら」、マスコットキャラクター「みなっち」の制定

→ 区の花「さくら」のPRに活用する]

南区区の花制定委員会において区の花の候補を選考し、区民意見の募集を経て区の花を「さくら」に決定しました。（平成13年1月）

また、南区制60周年を記念して、マスコットキャラクターのデザインを募集し、区民投票及び選定委員会により桜の花びらをモチーフにした「みなっち」を、南区のマスコットキャラクターに決定しました。（平成16年3月）



南区マスコットキャラクター「みなっち」

「みなっち」を活用し、区の花「さくら」とその保全に向けた積極的なPRを行うことが望まれます。

(3) 関連計画

本計画の策定における関連計画は次のとおりです。

横浜市都市計画マスタープラン・南区プラン「南区のまちづくり」では、まちづくりの方針として「大岡川プロムナードの充実」が掲げられています。また、神奈川県の大岡川河川再生計画では、その基本理念として「地域の歴史・文化・生活と密接に結びついた大岡川の環境の整備」が掲げられています。そして、井土ヶ谷・蒔田地区では、「井土ヶ谷・蒔田地区コミュニティゾーン計画」に基づいて、「歩行者の安全を最優先にした道路整備」が実施されました。

●横浜市都市計画マスタープラン・南区プラン「南区のまちづくり」(平成16年4月)

[横浜市都市計画マスタープラン・南区プランとは？]

横浜市都市計画マスタープラン・南区プランは、市全体のまちづくりの方針である「横浜市都市計画マスタープラン・全市プラン」を前提とした方針で、おおむね20年後の南区の将来像を描くとともに、その将来像を実現するためのまちづくりの方針を示すものです。

[関連の高い内容]

【目標】 あの手この手で身近な自然を守り、創造する

方針：水の軸の形成

区内の貴重な自然環境である河川を活かし、区民が水に親しみながら散策できる空間として、水の軸の形成をはかります。

-大岡川プロムナードの充実-

大岡川プロムナードについて、歩行環境の充実、休憩場所の整備、バリアフリー化の推進などをはかります。



出典：横浜市都市計画マスタープラン・南区プラン『南区のまちづくり』(平成16年4月・横浜市南区役所・都市計画局)

●大岡川河川再生計画（平成12年10月）

[大岡川河川再生計画とは？]

【施行主体】 神奈川県

【理念】

きれいになりつつある水質を活かし、沿川地域と一体的に行う地域の歴史・文化・生活と密接の結びついた大岡川の環境の整備と管理

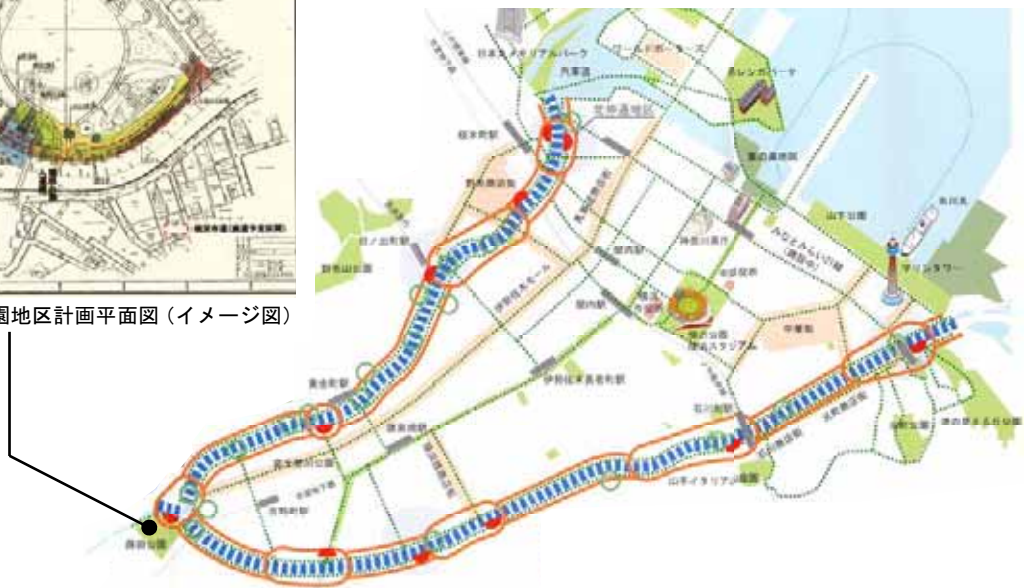
【計画の5つの目標】

- ・横浜都心を流れるきれいな水を守りたい。
- ・演芸・祭事・歴史など大岡川にまつわる横浜の下町文化を大切にしたい。
- ・横浜都心の貴重なオープンスペースとして子どもの遊び場・地域の憩いの場に大岡川を使いたい。
- ・都心プロムナードやショッピングモールとつながる水辺の遊歩道を歩きたい。
- ・市民生活を守るために大岡川の安全性を確保し防災機能としても大岡川を使いたい。



河川再生事業蒔田公園地区計画平面図(イメージ図)

出典：大岡川河川再生計画の概要（平成12年10月・神奈川県・横浜市）／
大岡川河川再生計画のあらしパンフレット（神奈川県横浜治水事務所）／
河川再生事業蒔田公園地区地元説明会資料（平成16年8月及び9月実施）



●井土ヶ谷・蒔田地区コミュニティゾーン計画（平成10年度から14年度まで）

[井土ヶ谷・蒔田地区コミュニティゾーン計画とは？]

コミュニティゾーンとは、住宅地や商店街において、歩行者が安心して歩ける環境を整備するため、地区内を通過する車両台数を減らして歩道をゆったりと確保するコミュニティ道路や、車両のスピードを抑制して歩行者中心の歩車共存道路などの整備を行う地域のことです。井土ヶ谷・蒔田地区（井土ヶ谷下町、南太田二丁目、宿町、花之木町、宮元町）において、地域住民、警察、行政等が一体となって協議し、歩行者の安全を最優先にした「コミュニティゾーン」づくりを平成10年度から14年度にかけて実施しました。（出典：コミュニティ・ゾーンで安心のあるまちづくり（財）全日本交通安全協会・（財）国土開発技術研究センター）

2 南区の桜

(1) 区の花「さくら」に関するこれまでの南区の取り組み

これまでの南区の桜に関する取り組みは次のとおりです。

年 月	取り組み内容
昭和 55 年 11 月	●大岡川プロムナードの整備の開始 ・ 観音橋～太田橋／昭和 55 年～昭和 60 年 3 月 ・ 与七橋～観音橋／昭和 62 年～平成 3 年 3 月
昭和 62 年 7 月	●「大岡川プロムナード」が建設省(当時)による「手づくり郷土賞」受賞
平成 3 年 3 月	●第 1 回「南区桜まつり」を開催(以降、毎年開催)
平成 5 年 4 月	●区制 50 周年記念事業として、第 3 回「南区桜まつり」において、蒔田中学校へ桜の記念植樹
平成 13 年 1 月	●区の花を「さくら」に制定
4 月	●区の花制定を記念して蒔田公園へ桜の記念植樹
平成 15 年 2 月	●桜の苗木を区民の自宅などで育てる「区の花オーナー」を募集し、桜の苗木を配布
平成 15 年 12 月 ～平成 16 年 3 月	●区制 60 周年記念事業として、以下の取組を実施 ・ 桜をはじめとした南区の魅力スポットや魅力スポットを巡るルートを紹介したガイドブック「南(なん)でもウォーカー」を発行 ・ 「区の花オーナー」を募集し、桜の苗木を配布 ・ 大岡川プロムナードへ 9 本の桜の記念植樹 ・ 桜の花びらをモチーフにした南区マスコットキャラクター「みなっち」を作成
平成 16 年 3 月	●大岡川プロムナード桜並木の樹木診断(健全度診断)の実施(前半)
12 月	●桜の保全・普及に向けた「南区さくら貯金振興会(P.36 参照)」の設立と募金活動の開始
平成 17 年 1 月	●大岡川プロムナード桜並木の樹木診断(健全度診断)の実施(後半)
3 月	●区民と区役所の協働による「南区さくら保全・活用計画」の策定開始 ●南区役所ホームページに南区の桜に関連した取組を紹介する「南区さくらプロジェクト」のページを開設
4 月	●桜の保全に向けた PR を行うため、区内の障害者地域作業所の協力により「みなっちグッズ」を製作・販売 ●区内の小学生と区役所の協働による「南区さくらマップ」の作成
11 月	●大岡小学校の提案に基づく協働事業「区の花さくら環境実験」の実施
12 月	●「南区さくらプロジェクト」の広報活動がハマリバ広報大賞(*)受賞
平成 18 年 3 月	●「南区さくら保全・活用計画」の策定

* ハマリバ広報大賞

横浜市役所の優れた改善事例を発表する「ハマリバ収穫祭 2005～改善最前線」のうち、優れた広報事例を表彰する部門の最優秀賞。

(2) 南区さくらマップ

[マップづくりの目的]

区の花「さくら」の保全・普及を進めるうえで、区内の桜の分布状況を把握する必要があります。

そこで、南区役所では区内の市立小学校の小学生に参加を呼びかけ、88名の小学生が「南区さくら探検隊」として桜の開花時期に桜の植栽場所の調査を行い、その分布状況を地図化する「南区さくらマップ」づくりに取り組みました。

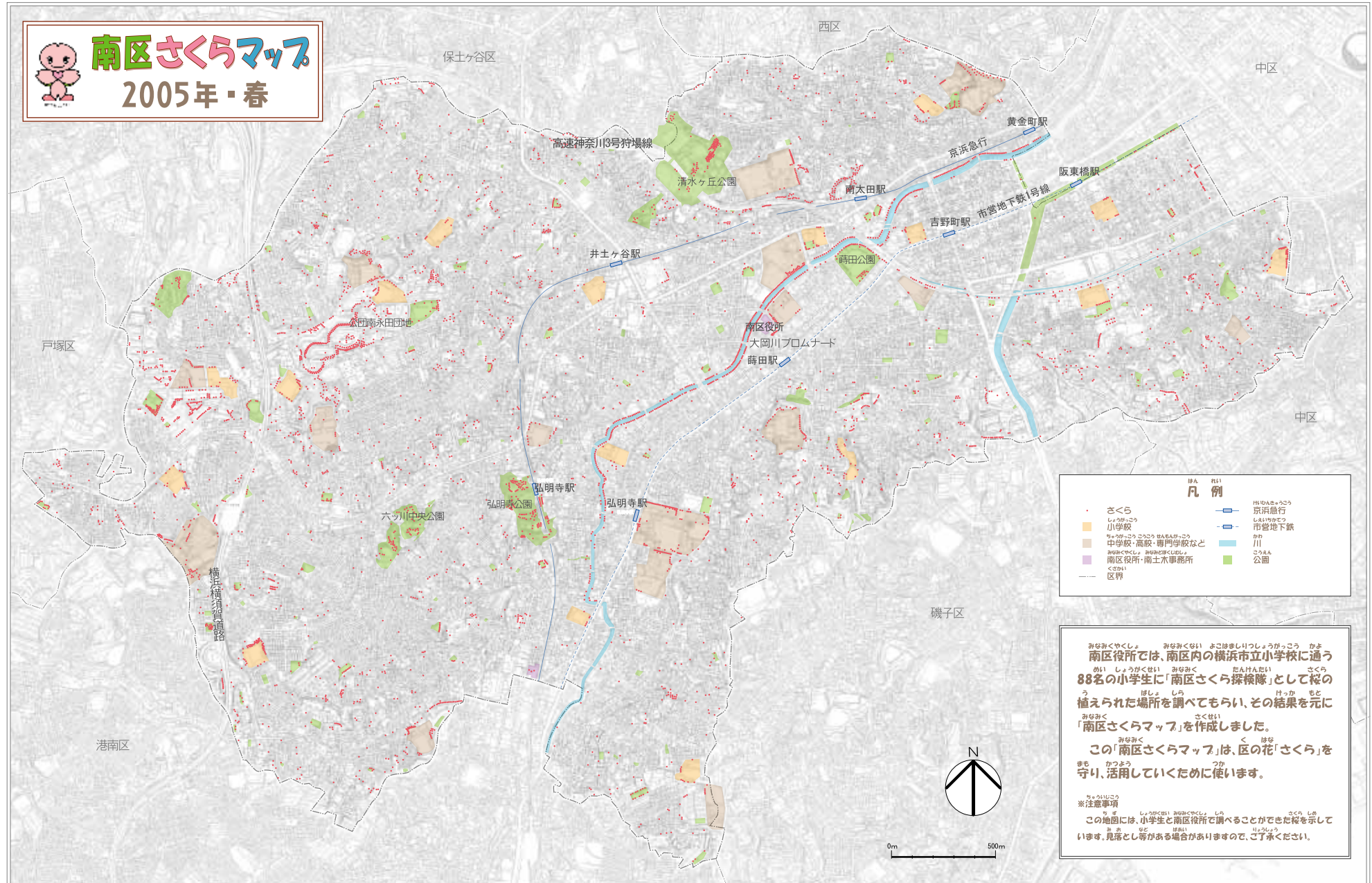
[マップづくりの成果]

調査の結果、南区全体で4553本の桜を確認することができました。大岡川プロムナードを中心としながらも、それ以外の身近な様々な場所に多くの桜の木があることが分かりました。

このマップは、今後の桜の植栽場所の検討や区内の景観づくりの検討などに役立てていくとともに、広く区民や学校に公開・配布することで、桜への関心を高めたり、環境学習で活用されることが期待されます。

また、マップづくりに参加した小学生から出された様々なアイデアや区民参加系専門部会の委員の皆さんの前で発表した「南区さくら探検隊アイデア発表会」でのアイデアは本計画の策定に反映しています。

*南区役所ホームページでこのマップをダウンロードすることができます。



不詳複製 2005年5月発行 (編集・発行) 横浜市内南区役所推進課 電話045(743)8127 FAX045(712)0404 / 調査・制作・デザイン協力 株式会社都市計画研究所